

22 英、米、中、韓との比較を通じた我が国の美術教育のカリキュラムに関する研究
研究代表者 奥村 高明（教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官）

① 研究の趣旨，ねらい

本研究は、諸外国の教育課程と我が国のものを比較したものである。特に、構造的に整理されているとされるイギリス、アメリカの教育課程と、以前は欧米的であったが我が国の子どもの活動を重視する教育課程の影響を強く受けたとされる中国や韓国などの東アジアの教育課程と我が国の教育課程を比較検討する。具体的には、我が国の学習指導要領の構造を整理するとともに、これに相当する諸外国の教育課程、教科書の構造や特徴も検討し、比較した。これを通して、我が国の教育課程の子どもの主体的な活動を重視する姿勢を保ちつつ、教育課程の構造をより明確にするための視点の構築を試みた。

② 研究成果の概要（簡条書き）

- イギリス、アメリカ合衆国、中国、韓国の教育課程を構成する「目標」「内容」「方法」「評価」といった諸要素の概念とその相互関係を明らかにする研究成果報告書の作成
- 2008年度に改定された我が国の学習指導要領を英語、中国語、および、韓国語に翻訳した研究成果資料（リーフレット）の作成
- 昭和22年以降の図画工作、美術、芸術（美術、工芸）の学習指導要領及び児童・生徒指導要録を収集し、用語を検索できる簡便なデータベースの作成

③ 中期目標との関連性（簡条書き）

- 中期目標の1：中長期的な視点に立った戦略的な教育政策の企画・立案に資するための理論的・実証的な調査研究の推進
 - 教育制度の変遷発展に関する調査研究の実施
 - 教育制度に関する先導的な調査研究や国際比較研究の実施
- 教育課程研究センターの活動目標の1：教育課程の基準の改善やその実施に関し、基礎的・実践的な調査研究の推進
 - 初等中等教育の教育課程の改善に資するための理論的な調査研究
 - 教育課程の達成と改善の基礎的資料の整備

④ 研究に盛り込まれている主なデータ項目

- 昭和22年以降の図画工作、美術、芸術（美術、工芸）の学習指導要領
- 我が国の学習指導要領の英語訳、中国語訳、韓国語訳
- 教育課程、教科書の構造や特徴の検討・比較

⑤ 今後の研究予定

- 本研究における教育課程の国際比較研究を継続、発展させ、諸外国の教育評価方法を調査し、比較、検討する。
- 諸外国の教育評価方法の比較、検討をもとに、我が国の美術教育に適した評価方法の開発を通じた学力に関する基礎的研究を行う。

⑥ キーワード

- (1) 学習指導要領 (2) 図画工作 (3) 美術
- (4) 芸術（美術、工芸） (5) 英語訳、中国語訳、韓国語訳
- (6) 教育課程、教科書の構造や特徴

⑦ 本研究の研究報告書

- 「英、米、中、韓との比較を通じた我が国の美術教育のカリキュラムに関する研究」

<http://kaken.nii.ac.jp/ja/p/18530740>

⑧ 関連する先行研究や参考となる研究等

特になし